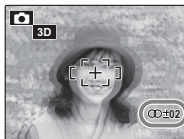


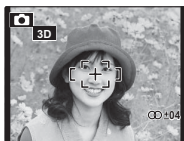
●● **3D** 撮影の視差調整について

3D の見え方を調整したい場合などは、**∞** (視差調整) レバーで、視差 (→116 ページ) を調整します。手動で調整した視差量は液晶モニターに % 表示されます。



そのまま撮影すると、調整した視差で撮影されます。調整した視差をリセットしたいときは、**3D** ボタンを押して **2D** モードにしてから、再度 **3D** ボタンを押して **3D** モードにしてください。

視差を調整すると、左右に黒の帯が表示され、撮影範囲が狭くなります。



📌 メモ：オート視差調整

撮影メニューの **∞** オート視差調整を ON にすると、**3D** 撮影時にカメラが自動的に視差を調整します。ただし、ON/OFF の設定にかかわらず手動でも視差調整できます。

📌 注意

視差をつけすぎると、立体視できない場合があります。

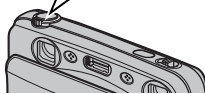
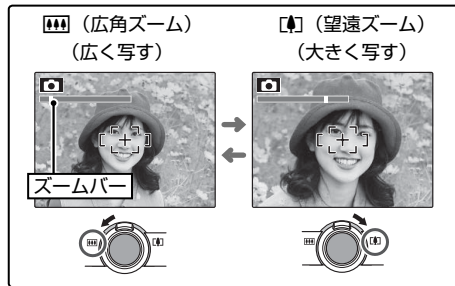
📌 注意

被写体を画面の中央に配置しないときは、必ず AF/AE ロック (→42 ページ) を使ってください。AF/AE ロックをしないと、被写体にピントが合わないことがあります。

●● ズームを使うには

ズームレバーを操作すると、ズームが作動して被写体の大きさを変えることができます。

広い範囲を写したいときは **⏪** 方向、被写体を大きく写したいときは **⏩** 方向に、ズームレバーを動かしてください。



📌 チェック

拡大しすぎると、立体に見えにくいことがあります。